

専門科目 保健政策・医療管理学

(専門職学位課程)

科目名	医療管理学実習	code number : HPM-BIZ 382	選択	2 単位
-----	---------	------------------------------	----	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	夏期	曜日・時限	(個別設定)	授業方法	実習

1. 授業の概要

医療経営・管理・経済学の理論を踏まえたうえで、現実の医療現場を経営・管理・経済学の視点から見て、その問題点を把握することが重要である。一専門職としてではなく、一步離れた立場から問題点を俯瞰し、全体最適化を目指すトレーニングを行う。本実習では医療現場が実際に直面する問題を例として取り上げ、その解決の可能性をグループ・プロジェクトとして議論・提示して、現代の医療の抱える問題点を実感することを目標とする。実習する医療現場としては下記の2つの選択肢の中から選ぶ。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1.医療を医療管理の観点から実習する。

【行動目標(SBO)】

- 1.医療管理上の問題を実地体験し、説明できる。
- 2.管理上の問題点を的確に把握し、解決方法を提示できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)実習への積極的参加:50%
 (2)実習テーマに関するレポート:50%
 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・特になし

5. 参考書

・特になし

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・それぞれの実習課程で決められた事前課題を予習する。
- ・当該期間に30時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・本実習を履修する場合には、医療経済学の履修を前提とする。
- ・レポートに対し、実習の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

医療管理学実習

回数	日付	時限	担当者	授業内容
I. 帝京大学医学部附属病院での医療管理学実習 1. 事務次長または実習担当者の指示に従い、病院各部門の実務を見学する。 2. 単位認定希望者のみ附属病院における医療管理上の問題点を発見しその解決案を報告する(A4版2～3枚程度)。 3. 提出された報告書は、附属病院幹部にも配布して実際の業務改善につなげる予定である。 II. 他施設での医療管理学実習 1. 医療管理学実習は2単位なので、それ相当のコミットメントが必要となる。 2. 単位認定希望者のみ実習施設における医療管理上の問題点を発見しその解決案を報告する(A4版3枚程度)。 尚、授業日時については、夏季休業前に本科目履修希望者と指導教員にて個別に設定する。				